

令和8年度シラバス（地理歴史）

学番41 新潟県立栃尾高等学校

教科(科目)	地理歴史（歴史総合）	単位数	2 単位	年次	2 年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	「高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来」（第一学習社）				
副教材等	「新詳歴史総合」（浜島書店）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

①近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

②近現代の歴史の変化における相互の関連等に着目して考察、構想し、それらを効果的に説明する力等を養う。

③近現代の諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度、それぞれの国の文化を尊重することへの自覚などを深める。

3 指導の重点

- ① 1 学年での地理総合から、3 学年での選択科目へとつなげていくための、基礎的・基本的知識を身につけさせる。
- ② 継続的にノートや学習プリントを提出させ、学習状態を常に把握する。
- ③ 世界及び日本の歴史を身近に感じられるよう、視聴覚教材や新聞記事、ICTなどを活用する。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・授業の様子（授業態度・発問評価・学習活動への取り組みなど） ・定期考査 ・提出物の状況（感想文・主題学習レポート・休業中の課題など） などから、総合的に評価します。	・授業の様子（授業態度・発問評価・学習活動への取り組みなど） ・定期考査 ・提出物の状況（感想文・主題学習レポート・休業中の課題など） などから、総合的に評価します。	・授業の様子（授業態度・発問評価・学習活動への取り組みなど） ・提出物の状況（感想文・主題学習レポート・休業中の課題など） などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規程表で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	第1部 歴史の扉 第2部 近代の世界と日本 第1章 近代化と私たち	教科書 資料集 プリント 視聴覚教材	・私たちの身近な地域にみられる諸事象が、日本や世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響に着目して、主題を設定し、多面的に考察できる。 ・諸史料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	12	定期考査 提出物 授業態度
6 7 8 9	第2部 近代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 近代化と現代的な課題	教科書 資料集 プリント 視聴覚教材	・列強の進出と植民地の形成などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 ・アジア諸国と他国の状況を比較したり、相互に関連付けたりして多角的に考察できる。 ・諸史料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	24	定期考査 提出物 授業態度
10 11 12	第2章 国際秩序の変化や「大衆化と私たち」 国際秩序の変化や大衆化と現代的な課題	教科書 資料集 プリント 視聴覚教材	・世界恐慌、ファシズムの台頭、日本の対外政策を基に、国際協調体制の動揺を理解している。 ・日本と他国の状況を比較したり、相互に関連付けたりして多角的に考察できる。 ・諸史料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	22	定期考査 提出物 授業態度
1 2 3	第3章 グローバル化と私たち 現代的な諸課題の形成と展望	教科書 資料集 プリント 視聴覚教材	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、環境問題等に関する歴史と課題を理解している。 ・日本と他国の状況を比較したり、相互に関連付けたりして多角的に考察できる。 ・諸史料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	12	定期考査 提出物 授業態度

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

視聴覚教材を用いた授業時の感想文提出や詳テストの実施。
作業プリントの提出」(授業内で随時実施する)。
夏期休業中・冬季休業中の課題については別途指示。

8 担当者からの一言

歴史とは、遠い昔の、自分とは関係のない地域の出来事などと思っていませんか？ 我々の身近な暮らしや地域は、過去の歴史の流れの中で存在しており、そして世界の地域と密接につながっています。そのようなことを理解して、広い視野の下で物事を考える力を養ってもらいたいと思います。